

やさしい街づくり！元気な長崎！

長崎市議会議員



# いづわ清隆 だより 第16号

平成18年11月 発行責任者：馬場 尚之 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032

山里地区子育て支援センター

「ふわり」開所式にて



晩秋の候、肌寒い気候となりますが、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、「ご活躍の事とお喜び申し上げます。

9月17日の台風13号は、強い風が長崎市を直撃し、大きな被害をもたらしました。被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

5年5ヶ月続いた小泉政権から安部政権へと引き継がれました。この5年余りの間に国民の生活はどのように変わったのでしょうか、国の借金は800兆円を超え、地域間格差は拡大し社会保障費や税制改革などにより弱者いじめに近いような状況となっております。

安部首相は、美しい日本を創ると所信表明されていますが、地域間の格差が広がる中で、地方の市民生活を直視し、何が緊急課題か認識してもらいたいと思います。

私も市会議員として、早いもので3年6ヶ月が過ぎました。その間に多くの皆さまのご支援を賜り市政での活動をさせて頂き改めて感謝いたします。

この度、来年4月に施行されます長崎市議会議員選挙に2期目の挑戦をすることになり、皆さま方には、更なるご支援をお願いする次第であります。

今後とも「やさしい街づくり」「元気な長崎」に向けて初心を忘れずに議員活動を邁進する所存でありますのでよろしくお願い致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

## 2期目に挑戦！

### 「やさしい街」「元気な長崎」をへらに頑張りますので、ご支援をお願いします

- お年寄りや子供達が、安全で安心して生活できる環境の整備
- 市民との対話を通じて、市民の声を反映し市政の活性化
- 災害に強い、緊急災害に即応できる街づくり
- 若者が働きがいがある産業の育成若者の未就業者対策
- まじめな者が報われ、弱い者にやさしい政治
- 市民の皆さんが気軽に相談できる、市政と市民のパイプ役



後援会会長 坂本 伸慈

長崎に元気を！ 行動力が魅力です

五輪市議は、平成15年4月初当選以来、精力的に行動し、身近な地域の問題点改善や、行政への意見具申するなど、積極的に活動を行っております。何よりもすばらしいのは、誠実な人柄と行動力です。相談を受けた事には親身になって対応し、その対応のスピードも早く、頼れる市会議員です。皆さまの更なるご支援をお願いします。

### 後援会加入運動スタート

来年4月に施行されます長崎市議会議員選挙に向け、後援会として「いづわ清隆」の後援会加入運動をスタートいたします。

2期目の必勝を勝ち獲るため皆さまの後援会へのご加入とお知り合いのご紹介をお願いします。

### 編集後記

10月も後半になり、日中も過ごしやすくなり、朝晩は肌寒く感じるようになりました。今の時期は夏の疲れと季節の変わり目で体調を崩しやすく、健康管理には注意が必要です。

また、台風13号の塩害のためなのか、桜の花が各所で時期外れに咲くなど、植物にも異変が生じており、いつもの季節とは少し様子が違います。

さて、10月中旬より、来春の統一地方選挙に向け、後援会加入運動を開始し、取り組みがスタートしました。皆様には「いづわ清隆」2期目の必勝に向けて、再度お力をお貸しいただきたく、改めて後援会加入をお願いいたしますが、「いづわ清隆」は市会議員として3年半、皆様のお役に立つべく、懸命に頑張っております。

今後も地域社会の様々な問題の解決や、市民の皆さんが気軽に相談できる市会議員として、地道に活動を行ってまいりますので、皆様方の旧に倍するご支援をよろしくお願いします。

ご相談はお気軽に！

長崎市の都1丁目1444-13  
 自 宅 ☎(844)9599  
 生活相談室 ☎(861)1985



## いづわ清隆

長崎市議会議員

この用紙は再生紙を使用しています。

9月定例会市議会報告

# 総額37億4千万円の一般会計予算など 39の議案を可決!

- 定例長崎市議会は、9月4日から22日まで開催し、災害時の市の危機管理体制の強化を求める決議など39議案を原案通り可決、請願1件を採択しました。災害時の決議は9月17日(日)に長崎市を直撃した台風13号により広範囲の停電で市民生活に重大な影響が出たとして「電力会社との事前の連絡調整が不十分で住民に災害情報の周知ができていなかった。また、市役所に設置した相談窓口は、市民の不安を払しょくする細やかな対応ができていない」と指摘し万全の対策を求めました。また、可決した議案で7月の大雨で、のり面に亀裂が入るなどの被害が出た「えがわ運動公園」について、市の整備計画課程に不手際があったとして、不帯決議を付け、今後災害復旧や地質調査などに徹底して取り組むように求めました。さらに、北朝鮮の核実験実施発表を受けて10月11日に臨時議会を開き、核実験の即時中止を求める意見書と、すべての核保有国に核廃絶への取り組みを要請する決議を可決しました。
- 廃止交番等活用事業費…200万円  
廃止交番・駐在所を地元自治会等のコミュニティ及び安全・安心の活動拠点として整備する。  
整備箇所…6箇所
- グループホーム消防設備整備事業費補助金…2,180万円  
グループホーム入居者の安全を確保するため、スプリンクラー等の消防設備整備費の一部を助成する。  
対象箇所…32箇所
- ふれあいセンター建設事業費…1,060万円  
(仮称)江平地区ふれあいセンター建設のための実施設計等を行う。  
事業期間…平成18年度～平成19年度
- 一般保育所運営費…4,283万円  
公立保育所の10月以降の給食調理業務委託料。  
対象箇所数…10箇所
- 長崎市母子寡婦福祉会補助金…5,165万7千円  
公立保育所の給食調理業務の契約内容の変更に伴い、委託先である長崎市母子寡婦福祉会に対し、
- 長崎原爆病院設備整備費補助金…3,000万円  
長崎原爆病院が行う医療機器の整備に対して助成する。  
整備品目…X線撮影画像処理装置ほか1点



旧新大工町交番



山王神社の大クス

物件名	山王神社大クス	油木町池田宅カシの木
場所	坂本2丁目	油木町コンクリート
事業概要	樹勢回復、土壌改良	擁壁設置、剪定
事業年度	平成18年度	平成18年度

● 被爆建造物等保存整備事業費補助金…898万5千円  
被爆建造物等の保存整備費の一部を助成する。

平成18年10月11日 臨時議会

## 北朝鮮の核実験実施に 強く抗議する決議文

平成18年10月9日に朝鮮民主主義人民共和国が地下核実験を実施したとの報道に接した。  
同核実験は、核廃絶に向けた国際社会の強い要求を無視し、世界の平和に逆行し、愚行としか言いようのない常軌を逸したものであり、同核実験強行という行為に強い憤りを感じるものである。  
今回の北朝鮮の核実験実施は、世界恒久平和を願う全人類に対する挑戦であり、また、アジア地域はもとより国際社会に重大な緊張を生み、さらに危機的な状況をもたらすものである。  
また、私たち被爆地長崎の市民は、「長崎を最後の被爆地に、人類は核兵器と共存できない」と訴え続け、かかる危険なみちを二度と許さないために、国連憲章の平和原則を尊重し、人類の未来に向かって核兵器廃絶の実行に踏み出すことに全力を挙げることを決意した。



えがわ運動公園

- さるく観光推進事業費…973万6千円  
長崎さるく博で培った人材やノウハウを活かし、「さるく観光」を継続・発展させるため、「さるくマップ改訂版の作成などを行う」。
- 耐震化優先度調査費…9,500万円  
(1)小学校分…5,825万円  
(2)中学校分…3,675万円  
昭和56年以前に建築した学校校舎等の耐震化優先度調査を実施し、学校施設の耐震化推進計画を策定する。  
対象校…小学校校舎 48校  
屋内運動場 51校  
中学校校舎 32校  
屋内運動場 26校
- えがわ運動公園地質調査等委託…1,400万円  
えがわ運動公園の降雨災害に伴い、被災箇所隣接法面のボーリング調査等を行う。  
期間…平成19年度～平成20年度

以上、決議する。  
平成18年10月11日 長崎市議会

## 「もっと民主党!夏の対話集会」を開催



長崎県第1区総支部(総支部長 高木義明)は、9月8日(金)長崎グランドホテルにおいて、党員・サポーターをはじめ、労組関係者や退職者団体、一般参加者約300名が参加し

「もっと民主党!夏の対話集会」を開催しました。  
冒頭、高木義明総支部長から、日頃から民主党に対するご支援・ご協力に対してのお礼のあいさつと、対話集会の開催や目的について説明がなされました。その後、テーマである「どうなる私たちの暮らし―これからの税金と医療―」について、講師の松本剛明政調会長より約40分間、高齢者医療の問題や、年金問題などの講演をいただきました。講演終了後は参加者から、民主党に対する要望や雇用対策など活発な意見が出され、約1時間半の集会を終了しました。

## 障害者自立支援法に要望を行う(抜すい)

五輪市議は、厚生委員会副委員長として8月3日・4日に厚生労働省・本県選出の国会議員へ、障害者自立支援法の要望を行いました。  
本年4月より、障害者の地域生活と就労を進め自立の支援を目的とした障害者自立支援法が施行され、福祉サービス、公費負担医療等について、一元的に提供する仕組みが創設されました。

えとおり、障害者の生活への影響も懸念されますことから、低所得者に対する恒常的な負担軽減対策等が望まれているところであり、障害者にとって必要な福祉サービスが必要なときに確実に提供されるよう、安定した制度の運営を行っていくことが重要であります。市町村におきましては財源の確保等課題が山積いたしておりますので、障害者施策の充実を図り、円滑な運営ができるよう要望します。

